



## 11/7(月) 海外派遣生徒発表会

11月7日(月)、生徒朝礼の中で、海外派遣生徒報告会がありました。

今年度、練馬区の中学生海外派遣生として、夏休みにオーストラリア、イブスウィッチ市を訪れ、学習してきた大隅 麟くん(3E)と片桐侑夏さん(2E)の二人が、自分達で撮ってきた写真や動画をプロジェクターに映しながら海外派遣の報告、発表をしてくれました。

発表はすべて流暢な英語で行い、向こうの学校での学習の様子や生徒たちとの交流、ホームステイ先での生活やホストファミリーとの交流についての思い出や発見等を聞かせてくれました。



## 11/12(土) 2年生 国際理解教育 「留学生が先生！」



11月12日(土)学校公開日の2・3校時に2年生は、総合的な学習の時間の国際理解教育の取組として「留学生が先生！」というプログラムを実施しました。

日本に留学に来ているマレーシア、ロシア、ベラルーシ、カザフスタン、韓国からの留学生をお招きして、それぞれの国の文化や生活習慣などについて、たいへん興味深いお話をいただきました。他にも、民族衣装を着せてもらったり、一緒にダンスを踊ったりと、楽しく異文化交流をする機会となりました。

## 11/17(木) 小中一貫教育合同研究会



大北小、大一小との小中一貫教育実践校としての今年度3回目の研究会を実施しました。3校に分かれて、それぞれ研究授業を行いました。大北中では、1年生の家庭科の授業を参観し、その後の協議会では、小中の連携を視野に、よりよい授業づくり

を目指して、アクティブラーニングについて研修を深めました。

## 11/4(金) セーフティ教室

石神井警察署の生活安全課のスクールサポーターの方に、携帯・スマホ等、SNSやインターネットに関わる犯罪被害防止についての講演をしていただきました。



## 12月の主な行事予定

12月	2日(金)	校外学習(1年・2年)	15日(木)	避難訓練
	5日(月)	生徒朝礼 三者面談(始)	16日(金)	中央委員会
	7日(水)	小中一貫教育合同研究会		2年生大北小合唱発表会参加
	10日(土)	学校公開日	21日(水)	全校美化
		命の大切さを学ぶ教室(1年)	22日(木)	終業式
	12日(月)	三者面談(終)	26日(月)	冬季休業日始
	13日(火)	各種委員会		

## 「全国学力・学習状況調査」(3年生)

### 及び「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(2年生)の分析

3年生を対象として実施された「全国学力・学習状況調査(国・数・質問紙調査)」(4月)及び、2年生を対象として実施された都の「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(7月)の結果についてまとめました。

#### ●「全国学力・学習状況調査」(3年生)の結果から

国語、数学ともに平均正答率では、全国、都の平均を5～7ポイント下回っているという結果でした。両教科とも特にB問題(主として活用に関する問題)に課題があるという傾向が見て取れます。(左表を参照。)

全国や都の平均値と比べ、各校の平均値はとも少ないサンプル数での値であるため、これは、必ずしも本校3年生全体の学力が都や全国

の平均から著しく劣っているということは直結しませんが、解答状況を見ると目立った傾向がいくつかあります。

一つは、設問に対する無解答率が高いということです。これは、全ての設問に対して見られる傾向で、例えば、正答率で全国平均を上回っているような設問でも無解答率が全国平均の倍以上というものもありました。

もう一つは、記述式の設問に対する正答率が低いということです。国語、数学ともにB問題(主として活用に関する問題)の記述式の設問に対しては、無解答率も高く、正答率がとても低いという傾向が見られます。

自分の考えを言葉で述べたり、説明したりすることに課題があると捉えられますが、同時に記述式の設問に対して解答をあきらめてしまっている生徒(無解答)が少なからずいることも分かりました。これは学習状況(質問紙)調査の結果からも明らかであり、記述式の設問について「最後まで解答を書こうと努力しましたか」という質問に対して、「書く問題は全く解答しなかった」という回答をしている生徒が、国語で7.5%、数学で10.6%と、ともに全国平均、都平均を大きく上回っています。

また、『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」「自分の考えを発表する機会では自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか」という質問に対しては、全国平均・都平均を大きく上回る生徒が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しており、総合的な学習の時間を中心に実践している課題解決型の学習が定着していることがわかります。

#### ●東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(2年生)の結果から

各教科(国語・社会・数学・理科・英語)とも、「A教科の内容」「B読み解く力に関する内容」のどちらの正答率も平均値を下回っているという結果でした。教科別、観点別に見ると、「A教科の内容」では、各教科「関心・意欲・態度」の観点で、平均値を下回っており、特に数学では都の平均を大きく下回る結果でした。また、国語の「書くこと」の観点、数学の「思考・判断・表現」「知識・理解」の観点、理科の「思考・判断・表現」「技能」の観点で平均を大きく下回り、課題が見られました。一方、社会科では「思考・判断・表現」「知識・理解」の観点で平均を上回る正答率を示しています。「B読み解く力に関する内容」では、数学と英語の「取り出す力」、数学、理科、英語の「解決する力」に難点があります。

全体の正答数の分布では、正答数上位のA層、B層に比べて、正答数下位のC層、D層の分布に偏っている傾向が見られます。基礎的・基本的な知識・内容の習得を図り、習得した「知識」を活用する能力を伸ばしていくための授業改善をさらに進めることが必要となります。

平均正答率(%)

	国語A (知識)	国語B (活用)	数学A (知識)	数学B (活用)
本校	73.4	59.8	57.5	38.8
東京都	76.9	68.6	63.5	45.6
全国	75.6	66.5	62.2	44.1